

令和7年度
入学試験問題

第3回

国語

- 1 問題用紙は監督者^{かんとくしゃ}の指示があるまでは開いてはいけません。
- 2 開始のチャイムが鳴ったら、最初に問題用紙と解答用紙に受験番号と氏名を記入して下さい。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。
- 4 記述で答える問題は、特に指定のない場合、句読点^{くとうてん}や符号^{ふごう}は一字として数えるものとします。
- 5 問題は1ページから18ページまであります。

受験 番号		氏 名	
----------	--	------------	--

森村学園中等部

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

こちらの文章問題は、
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

問一

①「^{かれ}彼らの『日中の会話』と『夜の会話』の内容がいちじるしく異なる」とありますが、その説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 日中にはジョークやうわさ話など気楽な会話を楽しんでいたのに対して、夜はまじめで深刻な内容を議論していたということ。
- イ 日中に友人と買い物をしたり会話を楽しんだりしていたのに対して、夜は個人それぞれで儀式や伝統を学んでいたということ。
- ウ 日中の話題は暮らしに関するものが中心だったのに対して、夜は民族に伝わる物語や神話に関する話題が中心だったということ。
- エ 日中に生活に役立つ実用的な情報を交換して^{こうかん}いたのに対して、夜は昔話や作り話などのとりとめのない話を共有していたということ。

問二

——②「そこには落とし穴もある」とありますが、ここでの「落とし穴」とはどのようなことですか。その説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 正しい行いやよい行動をとっているのにうまくいかないときは、「敵」が自分たちを阻害しているからに違いないと思いきんてしまふこと。

イ 集団に属する人がみんなて正しい行いを続けていけば、その集団に属する人たちは必ず豊かて幸せになれると信じて疑わなないこと。

ウ 自分たちの絆や友情を強めるためには、自分たちの集団に属さなない人たちを進んで排除したり攻撃したりする方がいと思つてしまふこと。

エ 仲間との絆を深めるために外部集団や自分たちの「敵」をこらしめることが、気づかないうちに暴力や差別を肯定することになつていふこと。

問三

——③「このような物語に從つて、ある人びとを共通の『敵』と見なしてたたいたり、差別したりすることは、再三にわたつて歴史の中でくりかえされてきた」とありますが、この具体例として適当でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ヨーロッパでは中世から近世にかけて、社会的に孤立した弱い立場の人たちを「魔女」に仕立て上げ、彼らを処罰する「魔女狩り」が行われた。

イ 第一次大戦後にドイツで権力を握つたナチスは政府を利用し、古代から差別を受けていたユダヤ人を虐殺し、数百万人もの人々が犠牲になつた。

ウ ロシア革命の翌年に日本国内でシベリア出兵が発表されると、商人が米を買い占め、物価が上昇したので庶民達は苦しい生活を強いられた。

エ 明治期の日本政府は北海道のアイヌ民族を野蛮なものともなし、アイヌ語の使用や文化の継承を禁止する法律を制定し差別や圧政を行つていた。

問四 ——— ④「個人のレベルでいう物語」について次の問いに答えなさい。

- (1) 「個人のレベルでいう物語」とはどのようなものですか。それを説明したものとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。
- ア 実際に経験したり周囲で起こったりした出来事と世間のルールをつなぎ合わせて、自分の考えや価値観に合うように作られるもの
イ これまで個人が経験した様々な出来事を世間のルールとうまく組み合わせ、より多くの人が理解できるように作られるもの
ウ 個人の日頃の行いと日本社会の暗黙のルールを照らし合わせ、そのルールを守れなかった際に自分を戒めるために作られるもの
エ 代々語り継がれてきた民話や神話と現代に残る世間のルールをつなぎ合わせて、自分の行動を規定するために作られるもの
- (2) 本文に登場するA君の物語は何のために作られたのですか。次の() に合う一文を本文中から求め、始めの八字をぬき出して答えなさい。
- () ため。

問五 I III に当てはまる語を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア しかし イ たしかに ウ もし エ あるいは オ だから カ たとえば

問六 ——— ⑤「物語は本人を追い詰める」について、次の問いに答えなさい。

- (1) ここで用いられている表現技法は次のうちのどれですか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。
- ア 倒置法 イ 直喩法 ウ 擬人法 エ 対句法 オ 体言止め
- (2) 「物語」に追い詰められた結果、その本人はどのようなになりますか。その説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。
- ア 「物語」が見せる理想に引きずられてしまい、現実を冷静に見て判断することができなくなってしまった。
イ 「物語」に自己を否定され続けることで、前向きに物事に挑戦する力や頑張る力が失われてしまう。
ウ 「物語」がかかる呪いの言葉によって、災いや不幸がこれから自分の身に起きると信じ込んでしまう。
エ 「物語」の期待にこたえようとし過ぎることで、本来の実力が発揮できずに自分らしさが失われてしまう。

問七 —— ⑥「攻撃的な言葉だけが『呪い』になるわけではない」について、中学生が話し合っています。次の会話文を読んで後の問いに答えなさい。

けんたさん 「『攻撃的ではない言葉』なのに『呪い』になってしまっなんて…。」

あすかさん 「本文の例にある『親子なら、きつとわかりあえる』なんて、呪いというよりも相手を励ます^{はげ}ステキな言葉よね。」

ようこさん 「う〜ん。でも親子関係が上手くいっていない人にとっては呪いになると思うよ。きつとそういう人は、何かうまくいかなかった時に『自分は親子関係が上手くいっていないからこんなダメなんだ…』と思つて自分を責めてしまっんじゃないかな。」

けんたさん 「まさに『呪い』だね…。そう考えると他にも例えば『お姉ちゃんだからしつかりしてるね』とか『何でも話せる親友がいるのは幸せなことだ』という言葉も人によっては呪いになるかもしれないよね。」

あすかさん 「え〜！ そんなこと言ったらどんな言葉も全部『呪い』になってしまうんじゃないの!?!」

ようこさん 「大丈夫。^{だいじょうぶ} 本文では呪いにかかつてしまっような時の対処方法^{たいじょほう}も書かれてるよ。」

(1) けんたさんの発言にある~~~~~X「お姉ちゃんだからしつかりしてるね」~~~~~Y「何でも話せる親友がいるのは幸せなことだ」はそれぞれ次のような人にとつて、どのような呪いになると考えられますか。X・Yのいずれかを選び、自分で考えて答えなさい。

X 長女もしくは下に妹弟がいる人

Y 自分の気持ちを人に伝えるのが苦手な人

(2) ようこさんの発言にある「呪いにかかつてしまっような時の対処方法」を本文から読み取り、四十字以上五十字以内で説明しなさい。

問八 —— ⑦「古くなった地図や、役に立たなくなった地図」とありますが、これらは何の例えですか。その内容として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 古い常識や時代に合わなくなった価値観

イ 無意識のうちに自分の中に根付いているものの考え方

ウ 多様性を無視した社会に広がるルールやマナー

エ 時を超えて語り継がれてきた民話や神話

問九

本文の論の展開を説明したものとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 人々が焚き火を囲むことで「物語」が生まれたことを述べ、集団の物語と個人の物語を比較しながらそれらの負の部分の説明し、

最後は再び焚き火の話にもどり、古い物語は全て燃やして新たな集団の物語を創ることの大切さを語っている。

イ 古代から火は人間の生活にとっていかに必要だったのかを紹介し、焚き火から生まれた様々な個人の物語がもたらした歴史的な悲劇について触れ、そのような物語も燃やして灰にすることで人間は過去を乗り越えてきたと語っている。

ウ 先住民サン人が焚き火を囲むことで先祖の物語を伝えてきたことを説明し、物語が世界地図のようにサン人たちをガイドする存在であることを語りながら、最後に古くなった地図を燃やすことの必要性も付け加えている。

エ 集団の中で受け継がれてきた物語は夜の焚き火を囲む中で生まれたことを説明し、集団の物語の負の面に触れながら個人の物語に話題が移り、最後には再び焚き火の話にもどり、焚き火の特性で新たな「物語」を創造することを説いている。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

こちらの文章問題は、
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

問一

①「笑顔の芽衣姉ちゃんは、腿ももの上の手を固く握り締にぎめている」とありますが、この時の「芽衣」の様子として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 高校受験の失敗を同級生たちがしつこくむし返すので、彼らの言葉に負けないように必死で対抗しようとしている。
- イ 同級生たちの訪問を喜びながらも、もう中学生の時のように彼らと仲良くできないことにさみしさを覚えている。
- ウ 落ち着いて同級生たちに対応しながらも、突然訪ねてきた上に弟の名前を間違える彼女らの無礼さに嫌気がさしている。
- エ 突然の同級生の訪問に対し、おだやかに対応しようと努めているものの、内心では彼女らの嫌味に懸命に耐えている。

問二

②「弘毅はその場から立ち去りたくなかったが、芽衣姉ちゃんをここに一人置き去りにするわけにはいかない」とありますが、「弘毅」がこう考えているのはなぜですか。その理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 芽衣と元同級生たちのやりとりでいたたまれなさを感じたが、孤立する芽衣のそばにいたいことと力になりたいと思ったから。
- イ 芽衣の元同級生たちが芽衣にかける言葉に不快感を覚えつつも、自分が離れると芽衣にさらにひどいことをされると思ったから。
- ウ 芽衣の元同級生たちのふるまいに高校生をこわいと感じたが、勇気をふりしぼり芽衣をどうにかして守ってあげたいと思ったから。
- エ 芽衣と元同級生たちの会話を聞いて気まずくなったが、自分が立ち去るとあとで芽衣にこっぴどく怒られると思ったから。

問三 ———③「芽衣姉ちゃんは彼らの行き先へ視線を向けたく淡々とした様子で奥へ引っ込んだ」とありますが、この場面での「芽衣」

の様子を説明したものとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア もう彼らと会うことは二度とないので、これからは自分に嫌味を言うような人たちと関わらなくてよいのだと安心している様子。
- イ 自分もつと努力して受験に成功していれば同級生たちと現在もいっしょにいられたはずだと、過去の自分を反省している様子。
- ウ 仲良く帰っていく同級生の姿にひかれながらも、どうしたら昔のように仲良くなれるのだろうかと切実になやんでいる様子。
- エ 自分が行きたかった高校に通う同級生をうらやましく思いながらも、今は自分のやるべき仕事に集中しようとしている様子。

問四 ———④「階段を足音がくそれはそれは真っ赤になった」とありますが、この時の「芽衣」の心情を五十字以上六十字以内で答えな

さい。

問五 ———A「かなぐり捨て」・———B「佇んでいる」について、本文中での意味を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

A「かなぐり捨て」

- ア 荒々しく放り出して
- イ あわてて捨てたままにして
- ウ すっかり忘れ去って
- エ 細かいことを気にしないで

B「佇んでいる」

- ア 何かを探して辺りを見回している
- イ じっと目の前を見つめている
- ウ 立ち止まって作業している
- エ しばらくとどまっている

問六

——⑤『かまくら!』とありますが、「弘毅」がこの言葉を発したのはなぜですか。その理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 芽衣が男子高校生に見せるために作ったかまくらを彼に見せないまま帰すわけにはいかないと思い、なんとか彼の気を引こうとしたから。

イ 芽衣自身の手で男子高校生にお菓子を渡せるまでどうにか時間をかせぐために、裏庭のかまくらを見せて彼を引きとめようとしたから。

ウ 芽衣が男子高校生のために作ったお菓子を自分が渡すわけにはいかないと思い、直接渡すことが大事だと芽衣に気付かせようとしたから。

エ 芽衣に会うために店へ来たはずの男子高校生がなかなか芽衣に話しかけないので、彼の方から芽衣に声をかける流れを作ろうとしたから。

問七

次の文は、中学生たちが本文から読み取れる物語の登場人物について発言したものである。この中で人物像を正しく読み取れていない人を一人選び、名前を答えなさい。

なつみさん 「『潤』は、動揺している弘毅をよそに、即座に『待ってください』と男子高校生に声をかけていることから、大胆かつ行動的な一面がうかがえるね。高校生相手にも物怖じしないその度胸はすごいなあ。」

はるきさん 「『母』は、『大福のような顔をふつくとと緩めて』というところから、とてもやわらかくてやさしい表情をしていることがわかるよ。きっと日ごろからお客さんや子どもたちにもやさしく接しているんだろなあ。」

たろうさん 「『安江さん』は、『にっこにこで、胸の前に両手の拳を作る』とあるように、芽衣を応援して元気づけようとしている様子がら、きつと弘毅と芽衣にとっては安江さんも家族の一員みたいな存在なんだと思うな。いつも芽衣や弘毅をそばで見守ってくれているんだね。」

たまみさん 「『男子高校生』は、『かまくら!』と弘毅に言われて『珍しいね、どこにあるの?』と芽衣に聞いているから、かまくらが見たくて芽衣の家に留まろうとしたんだね。もしかして最初からかまくらが目当てでせんべい屋を訪れたのかなあ。」

問八 本文の内容と表現の特徴の説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 〰 a 「木箱をまるで城壁のようにしている」という表現は、嫌味な態度をとる元同級生たちに対する芽衣の怒りを、戦いに用いる「城壁」でたとえている。

イ 〰 b 「乾燥機にかけて乾煎りしたくらい乾いている」という表現は、芽衣が元同級生たちの言葉に対する興味を完全に失っている様子を表している。

ウ 〰 c 「猿連中がまた来たのか。睨んでやんなくちゃ」という表現は、芽衣の元同級生たちを「猿連中」と表記することで彼女らに対する弘毅の敵対心を表している。

エ 〰 d 「背中と腰から力が抜けそうになる」という表現は、大好きな芽衣が他の誰かを好きだということを、受け入れられない弘毅の複雑な心境を表している。

問九 次の文章は本文の翌日の場面である。これを読んで後の問いに答えなさい。

こちらの文章問題は、
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

——「芽衣姉ちゃんがなんで『こちらこそ』と言ったのか分からなかったけど」とありますが、あなたは芽衣が弘毅に「こちらこそ」と言ったのはなぜだと考えますか。本文の内容をふまえて答えなさい。

三

次の①～⑧の——部のカタカナを漢字になおし、⑨～⑫の——部の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

- ① ケイトウだてて考える。
- ② レイゾウコに肉をしまう。
- ③ 豊かな心をハグクむ。
- ④ 答案にゴジが多い。
- ⑤ オウチャクしてとびらを足でしめる。
- ⑥ 力の差がレキゼンとしている。
- ⑦ バンジ休すと観念する。
- ⑧ 大臣の発言はイサミアシだ。
- ⑨ 町の治安を守る。
- ⑩ 姉は軽やかにおどっていた。
- ⑪ 小魚をたくさん食べる。
- ⑫ 食後に果物を食べる。

